

事務事業名	図書館整備事業		所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
政策名	総合計画体系	(IV) ふるさを愛し豊かな心を育む教育と文化のまちづくり《教育・文化》	所属G	社会教育G	課長名	小川 浩
施策名		(24) 生涯学習の推進	担当者名	中林真希	電話番号(内線)	0854-40-1073
基本事業名	(072) 学習環境の充実	予算科目	会計	款	項	目
			01	510	215	2150

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~年度)	光を注ぐ交付金を活用し、市立図書館(室)の施設整備を行う	・光を注ぐ交付金を活用し、図書館(室)の施設整備を図ることによって、図書館(室)機能の充実を図り、地域の活性化、市民が個々に抱える課題の解決、知的好奇心への充足等多様化するニーズへの対応を目的とする。

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	事業費	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
図書館(室)図書 7994千円、ネットワーク整備備品(加茂・大東)・整備 4782千円、書架(大東・三刀屋)1187千円、加茂図書館空調設備改修工事9030千円	財源内訳	千円			22,993			
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円						
	事業費計(A)	千円	0	0	22,993	0	0	
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費	人			3			
改修工事関係:現場確認、設計、発注、日程等調整、検査、支払い。その他備品購入等:打合せ、入札事務、検査、支払い等予算管理全般	正規職員従事人数	人			3			
	延べ業務時間	時間			60			
	人件費計(B)	千円	0	0	237	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	23,230	0	0	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

① 主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	⑤ 活動指標							
23年度実績(23年度に行った主な活動) 改修工事関係:現場確認、設計、発注、日程等調整、検査、支払い その他備品購入等:打合せ、入札事務、検査、支払い等予算管理全般	ア 市内図書館(室)数		6	6	6	6		
24年度計画(24年度に計画している主な活動) H24予算なし	イ							
	ウ							
	エ							
	オ							

② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	⑥ 対象指標							
市民	ア 市民(国勢調査推計)	人	42,402	41,927	41,159	41,032		
③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	ア 来館者数(3館)	名	67,296	81,566	83,113	84,000		
④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	ア 日ごろから学習活動を行っている市民の割合	%	35.6	39.6	34.2	37		

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
・近年、図書館のネットワーク化を行い、図書館のサービスは飛躍的に向上している。しかし、それ以上に、住民の学習意欲やニーズが多様化している。	特になし	・施設の充実につながったと喜ばれている。

事務事業名	図書館整備事業	所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
-------	---------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ ・生涯学習活動及び環境整備の視点から、図書館の充実は整合性がある。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ ・生涯学習活動の環境整備から、公的事業として実施するための図書館の設置は整合性がある。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ ・対象は、市民全員であり、妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 限られた予算の中で優先的に必要な施設整備を行っており、成果向上の余地はない
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ ・生涯学習の環境整備の充実が損なわれる可能性がある。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 図書館施設に関しては、他に類似する施設がないため統廃合は難しい。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ ・図書館施設は、蔵書や施設の整備を充実させることにより、成果も上がるため、事業費を削減することは難しい。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 必要最低限の人件費で実施している
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 不特定多数の市民が集まる図書館にて整備しており公平公正である。また図書館は施設利用に関して、無料の原則となっており、受益者負担は難しい。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	光を注ぐ交付金により、例年にないほど蔵書や施設備品の購入や施設改修を行うことができ、学習環境の充実に繋がったのでよかった。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果																							
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×		低下		×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持			×																					
	低下		×	×																					
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									
単年度事業であるため、特になし																									